

Syllabus ID	syl.-131549
Subject ID	sub-131403801
更新履歴	20130322新規
授業科目名	工業英語I English for Engineers I
担当教員名	宮下 真信 MIYASHITA Masanobu
対象クラス	制御情報工学科4年生
単位数	1学修単位
必修/選択	必修
開講時期	後期
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	S4HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

現代の技術者にとって英文の技術文書の読み書きは必須となっている。ここでは、学術論文の構成について解説し、タイトルの付け方、英語の表現について講義をおこなう。また、英語でのプレゼンテーション法についても講義する。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

中学、高校レベルの英文法の知識。

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験をもって行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 技術英文読解に必要な数量表現、状態表現、比較表現などの習得。
2. 工業英語4級程度の基礎的な英語表現の習得。
3. 英文abstractが書けること、英文でのプレゼンテーション方法の習得。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ
第1回	前期オリエンテーション	授業の目的、進め方、自習への助言、評価方法 科学技術英語は、何が違うのか
第2回	学術論文の形式	学術論文の構成
第3回	学術論文の読み方	学術論文を実際に読んでみる
第4回	英文タイトルI	キャッチ-なタイトルの付け方
第5回	英文タイトルII	タイトルの言い回しI
第6回	英文タイトルIII	タイトルの言い回しII
第7回	英文タイトルIV	タイトルの言い回しIII

第8回	後期中間試験	
第9回	科学技術英語の表現I	名前、複合語、数え方
第10回	科学技術英語の表現II	基数詞／助数詞・倍数詞など
第11回	科学技術英語の表現III	単位と数式／動詞中心の英語表現
第12回	科学技術英語の表現IV	物の名前と数字／動詞中心の英語表現、形／状態
第13回	科学技術英語の表現V	接続詞、関連的説明・付加的説明の表現
第14回	科学技術英語の表現	尺度と基準、受動態、仮定法、目的や理由の表現方法
第15回	英語論文の書き方	abstractの書き方、科学技術英文を書くときのポイント、格調高い英語表現(分詞構文など)
第16回	学期末試験	
第17回	学期末試験の解説	

課題

授業終了時に、授業範囲の小テストを配布するなど

評価方法と基準

評価方法:

授業目標については、定期試験の成績で判断する。

評価基準:

中間試験と期末試験の平均点を評価点とする。

著しく授業態度が悪いと判断された場合は20%の範囲で減点する。

教科書等	工業英語ファーストステップ 講義資料(各自ダウンロードして講義に出席のこと)
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。